

特産品めぐり うるま市

地元素材を未来へ残していく
うるま市ならではの特産品たち

朝焼けが美しく、古き良き景色が残るうるま市は、県内で3番目に人口が多い都市。最近では、地域の歴史文化が学べる「あまわりパーク」や、県内最大級のBBQ施設「TERRUM A」がオープンするなど、注目のエリアです。

うるま市では、生産者と作り手を繋ぎ、地域資源を活かして新たな商品を生み出す「つむぐうるまプロジェクト」を2021年からスタート。素材に新たな価値をプラスすることで、未来へと繋げる取り組みです。また、フードロス解消を目指して作られたのが、規格外の津堅にんじんを使ったロールケーキ。アップサイクル※でおいしいスイーツに仕上がりました。

ほかに、生産量日本一の勝連で獲れたもずくを活用した醤油やポン酢、琉球王朝時代から生産されているビーグ(い草)をパウダーにして作ったクッキーなど、どれも次の世代へ伝えていきたい特産品ばかりです。
※本来捨てられるものに付加価値を持たせ、新たな商品を作ること



うるまさうし
「つむぐうるまプロジェクト」で作られた商品。あまSUN(みかん)やビーグ(い草)を使ったフルーティーな白ビール。

私のおすすめ!

うまい!ヘルシー!サスティナブル!じゃーとー特産品をご用意しております。週末のおでかけは、「うるま市」に決まり!
うるま市 商工労働課 屋嘉比 康希さん



沖縄にある41の市町村。その土地ならではの「特産品」がいっぱい!



粒香(りゅうか)
店主が育てるグアバのみを使用した水まんじゅう。果肉入りで食感と香りが存分に楽しめるお菓子。



照間の食べる量 4畳半
約180年の歴史がある照間のビーグ(い草)を粉末にして作った焼き菓子。実際の量の1/28スケールと形にもこだわりが。



生もずく醤油・もずくポン酢
収穫量日本一の漁場、勝連の海で獲れた生もずくを使った商品。とろみがあって食材によく絡み、普段使いに◎



黄金芋のきんつば
伊計島産黄金芋の甘さとしっとりした食感が特徴。隠し味にシナモンを使い、より上品に仕上げている。



津堅にんじんロール
クリームチーズを練り込んだ生地、ニンジンジャムとゼリーを巻いたロールケーキ。

広告